

福祉学科 カリキュラムマップ（2025年度以降）

科目比重配分 ◎(0.6以上)、○(0.3以上)、△(0.1以上)

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
知識・理解	社会福祉学の基礎を学ぶ	社会福祉学の基礎を磨く	社会福祉学の専門性を学ぶ	社会福祉学の専門性を獲得する	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知識について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を利用し、福祉サービス利用者の権利が尊重されている状況に共感できる。
	○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ○ ひんご福祉学 ○ ベットと人間福祉学 ○ 社会保障入門 ○ 映画から考える社会福祉 ○ 社会学と社会システム ○ 心理学と心理的支援 ○ ソーシャルワークの基盤と専門論 ○ カウンセリング ○ 福祉英語 ○ 福祉倫理 ○ 高齢者福祉 ○ 実用日本語ⅠA △ 実用日本語ⅠB	○ 社会福祉の原理と政策Ⅰ ○ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ○ ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） ○ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ○ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ○ 貧困に対する支援 ○ 儿童・家庭福祉 ○ 障害者福祉 ○ 社会保障Ⅰ ○ 社会保障Ⅱ ○ 医学概論 ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ○ 福祉用具専門相談員論Ⅰ ○ 福祉用具専門相談員論Ⅱ ○ 海外福祉研修Ⅱ △ 社会福祉実習 ○ 実用日本語ⅡA ○ 実用日本語ⅡB	○ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ ○ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ ○ 保健医療と福祉 ○ 社会福祉調査の基礎 ○ 福祉サービスの組織と経営 ○ 権利擁護を支える法制度 ○ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ ○ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ ○ 刑事司法と福祉 ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ○ ソーシャルワーク実習Ⅰ ○ 認知症カフレ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題解決特講 ○ 國際社会福祉特講Ⅰ ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講	○ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ○ ソーシャルワーク実習Ⅱ ○ 司法ソーシャルワーク特講 ○ 子ども家庭福祉特講 ○ 國際社会福祉特講Ⅱ ○ 福祉研究A ○ 福祉研究B ○ 福祉研究C ○ 福祉研究D	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知識について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を利用し、福祉サービス利用者の権利が尊重されている状況に共感できる。
	○ 基礎演習Ⅰ	△ 基礎演習Ⅱ	○ 専門演習Ⅰ	○ 専門演習Ⅱ	3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的能力を身につけることができる。
技能	介護福祉学の基礎を学ぶ	介護福祉学の基礎を磨く	介護福祉学の専門性を学ぶ	介護福祉学の専門性を獲得する	4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができます。
	○ ICT・介護ロボット ○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化的理解 ○ 介護福祉学Ⅰ ○ 余暇生活支援法Ⅰ ○ 介護技術Ⅰ ○ 介護技術Ⅱ ○ 介護実習指導Ⅰ ○ 介護福祉と介護技術	○ 介護福祉学Ⅱ ○ 余暇生活支援法Ⅱ ○ 認知症の理解Ⅰ ○ 認知症の理解Ⅱ ○ こことからだのしくみⅠ ○ こことからだのしくみⅡ ○ リスクマネジメント論 ○ 介護過程Ⅰ ○ 介護過程Ⅱ △ 介護過程Ⅲ ○ コミュニケーション技術Ⅰ ○ 障害の理解Ⅰ ○ 障害の理解Ⅱ ○ 介護技術Ⅲ ○ 介護技術Ⅳ ○ 生活支援技術Ⅰ ○ 介護実習指導Ⅱ △ 介護実習指導Ⅲ ○ 介護実習Ⅰ ○ 介護実習Ⅱ	○ こことからだのしくみⅢ ○ 介護過程Ⅳ ○ 介護過程Ⅴ ○ リハビリテーション論 ○ 生活支援技術Ⅱ ○ 生活支援技術Ⅲ ○ 生活支援技術Ⅳ ○ 介護実習指導Ⅳ ○ 介護実習Ⅲ ○ 介護実習Ⅳ ○ 医療のケアⅠ ○ 医療のケアⅡ	○ コミュニケーション技術Ⅱ ○ 生活支援技術Ⅴ ○ 生活支援技術Ⅵ △ 医療的ケアⅢ	5. 實践を省察し、自己的学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。
実践	福祉援助技術の基礎を学ぶ	対象に応じた福祉援助技術を学ぶ	福祉援助技術の専門性を高める	福祉援助技術の実践力を獲得する	
	○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 福祉英語 △ ソーシャルワーク演習 △ 海外福祉研修Ⅰ △ 社会福祉実習指導 △ 実用日本語ⅠA △ 実用日本語ⅠB	△ 医学概論 △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ △ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ○ 福祉用具専門相談員論Ⅰ ○ 福祉用具専門相談員論Ⅱ ○ 社会福祉実習 △ 実用日本語ⅡA △ 実用日本語ⅡB	○ 社会福祉調査の基礎 △ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ △ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ △ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ △ ソーシャルワーク実習Ⅰ ○ 認知症カフレ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題解決特講 △ 國際社会福祉特講Ⅰ ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講	△ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ △ ソーシャルワーク実習Ⅱ ○ 司法ソーシャルワーク特講	
	△ 基礎演習Ⅰ	○ 基礎演習Ⅱ	○ 専門演習Ⅰ	○ 専門演習Ⅱ	
	生活支援技術の基礎を学ぶ	利用者に応じた生活支援技術を学ぶ	生活支援技術の専門性を高める	生活支援技術の実践力を獲得する	
能	○ 社会福祉援助技術論 △ 介護福祉学Ⅰ ○ 余暇生活支援法Ⅰ ○ 介護技術Ⅰ ○ 介護技術Ⅱ △ 介護実習指導Ⅰ ○ 介護福祉と介護技術	△ 介護福祉学Ⅱ ○ 余暇生活支援法Ⅱ ○ 認知症の理解Ⅰ ○ 認知症の理解Ⅱ ○ こことからだのしくみⅠ ○ こことからだのしくみⅡ ○ リスクマネジメント論 ○ 介護過程Ⅰ ○ 介護過程Ⅱ ○ 介護過程Ⅲ ○ コミュニケーション技術Ⅰ ○ 障害の理解Ⅰ ○ 障害の理解Ⅱ ○ 介護技術Ⅲ ○ 介護技術Ⅳ ○ 生活支援技術Ⅰ ○ 介護実習指導Ⅱ ○ 介護実習指導Ⅲ ○ 介護実習Ⅰ ○ 介護実習Ⅱ	△ こことからだのしくみⅢ ○ 介護過程Ⅳ ○ 介護過程Ⅴ ○ リハビリテーション論 ○ 生活支援技術Ⅱ ○ 生活支援技術Ⅲ ○ 生活支援技術Ⅳ ○ 介護実習指導Ⅳ ○ 介護実習Ⅲ ○ 介護実習Ⅳ △ 医療的ケアⅠ △ 医療的ケアⅡ	○ コミュニケーション技術Ⅱ ○ 生活支援技術Ⅴ ○ 生活支援技術Ⅵ ○ 医療的ケアⅢ	

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
態度・志向性	福祉援助の現状と将来像を学ぶ	根拠に基づく福祉援助技術を身につける	多職種との連携・協働を身につける	福祉援助の実践力を身につける	<p>1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。</p> <p>2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助觀を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。</p> <p>3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的技能を身につけることができる。</p> <p>4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。</p> <p>5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。</p>
	△ 基礎演習 I	○ 基礎演習 II	○ 専門演習 I	○ 専門演習 II	
介護福祉士の現状と将来像を学ぶ	介護福祉士の現状と将来像を学ぶ	根拠に基づくケアを身につける	多職種との連携・協働を身につける	組織内、地域での実践力を身につける	
	○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化の理解 △ 介護福祉学 I ○ 余暇生活支援法 I △ 介護技術 I △ 介護技術 II ○ 介護実習指導 I	△ 介護福祉学 II △ 余暇生活支援法 II △ 認知症の理解 I ○ 認知症の理解 II △ 介護技術 I △ 介護技術 II ○ 介護実習指導 I	△ こことからだのしくみ III △ 介護過程 IV △ 介護過程 V △ リハビリテーション論 △ 生活支援技術 II △ 生活支援技術 III △ 介護実習指導 IV △ 介護実習 III ○ 介護実習 IV △ 障害の理解 I △ 障害の理解 II △ 介護技術 III △ 介護技術 IV △ 生活支援技術 I ○ 介護実習指導 II △ 介護実習 III ○ 介護実習 I ○ 介護実習 II	△ 生活支援技術 VI △ 医療的ケア III	

教職	教育概論 教育原理 教育心理学 教育課程論 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育相談 人権論	教育制度論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法 進路・キャリア演習 教育実習指導 教育実習 II	教育実践演習
----	--	---	--------

福祉学科(介護福祉専攻) カリキュラムマップ (2025年度以降)

科目比重配分 ○(0.6以上)、○(0.3以上)、△(0.1以上)

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ 社会福祉学の基礎を学ぶ	2年 知識・技術を習得 社会福祉学の基礎を磨く	3年 専門性を高める 社会福祉学の専門性を学ぶ	4年 職業人の育成 社会福祉学の専門性を獲得する	目 標
知識・理解	○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ○ ひんご福祉学 ○ ベットと人間福祉学 ○ 社会保障入門 ○ 映画から考える社会福祉 ○ 社会学と社会システム ○ 心理学と心理的支援 ○ ソーシャルワークの基礎と専門職 ○ 高齢者福祉 ○ カウンセリング ○ 福祉英語 ○ 福祉倫理 ○ 実用日本語ⅠA ○ 実用日本語ⅠB	○ 社会福祉の原理と政策Ⅰ ○ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ○ ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） ○ 医学概論 ○ ソーシャルワーク演習 ○ 福祉用具専門相談員論Ⅰ ○ 福祉用具専門相談員論Ⅱ ○ 実用日本語ⅡA ○ 実用日本語ⅡB	○ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ○ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ○ 貧困に応じる支援 ○ 児童・家庭福祉 ○ 障害者福祉 ○ 社会保障Ⅰ ○ 社会保障Ⅱ ○ 福祉サービスの組織と経営 ○ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ ○ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ○ 認知症カフェ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題解決特講 ○ 國際社会福祉特講Ⅰ ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 ○ 海外福祉研修Ⅰ ○ 社会福祉実習指導	○ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ ○ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ ○ 保健医療と福祉 ○ 社会福祉調査の基礎 ○ 権利擁護を支える法制度 ○ 刑事司法と福祉 ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ○ ソーシャルワーク実習Ⅰ ○ ソーシャルワーク実習Ⅱ ○ 司法ソーシャルワーク特講 ○ 子ども家庭福祉特講 ○ 國際社会福祉特講Ⅱ ○ 福祉研究A ○ 福祉研究B ○ 福祉研究C ○ 福祉研究D ○ 海外福祉研修Ⅱ △ 社会福祉実習	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。 3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的技能を身につけることができる。 4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
	○ 基礎演習Ⅰ	△ 基礎演習Ⅱ	○ 専門演習Ⅰ	○ 専門演習Ⅱ	
技能	介護福祉学の基礎を学ぶ ○ ICT・介護ロボット ○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化の理解 ○ 介護福祉学Ⅰ ○ 余暇生活支援法Ⅰ ○ 介護技術Ⅰ ○ 介護技術Ⅱ ○ 介護実習指導Ⅰ	介護福祉学の基礎を磨く ○ 介護福祉学Ⅱ ○ 余暇生活支援法Ⅱ ○ 認知症の理解Ⅰ ○ 認知症の理解Ⅱ ○ こころとからだのしづみⅠ ○ こころとからだのしづみⅡ ○ 介護過程Ⅰ ○ 介護過程Ⅱ △ 介護過程Ⅲ ○ コミュニケーション技術Ⅰ ○ 障害の理解Ⅰ ○ 障害の理解Ⅱ ○ リスクマネジメント論 ○ 介護技術Ⅲ ○ 介護技術Ⅳ ○ 生活支援技術Ⅰ ○ 介護実習指導Ⅱ △ 介護実習指導Ⅲ ○ 介護実習Ⅰ ○ 介護実習Ⅱ	介護福祉学の専門性を学ぶ ○ こころとからだのしづみⅢ ○ 介護過程Ⅳ ○ 介護過程Ⅴ ○ リハビリテーション論 ○ 生活支援技術Ⅱ ○ 生活支援技術Ⅲ ○ 生活支援技術Ⅳ ○ 介護実習指導Ⅳ △ 介護過程Ⅲ ○ 介護実習Ⅳ ○ 医療的ケアⅠ ○ 医療的ケアⅡ ○ 介護福祉と介護技術	介護福祉学の専門性を獲得する ○ 生活支援技術Ⅴ ○ 生活支援技術Ⅵ ○ コミュニケーション技術Ⅱ △ 医療的ケアⅢ	5. 実践を省察し、自己的学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。
	福祉援助技術の基礎を学ぶ ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 福祉英語 △ 実用日本語ⅠA △ 実用日本語ⅠB	対象に応じた福祉援助技術を学ぶ △ 医学概論 △ ソーシャルワーク演習 △ 福祉用具専門相談員論Ⅰ ○ 福祉用具専門相談員論Ⅱ △ 実用日本語ⅡA △ 実用日本語ⅡB	福祉援助技術の専門性を高める △ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ △ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ △ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ○ 認知症カフェ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題解決特講 ○ 國際社会福祉特講Ⅰ ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 △ 海外福祉研修Ⅰ △ 社会福祉実習指導	福祉援助技術の実践力を獲得する ○ 社会福祉調査の基礎 △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ △ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ △ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ △ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ △ ソーシャルワーク実習Ⅰ △ ソーシャルワーク実習Ⅱ ○ 司法ソーシャルワーク特講 ○ 社会福祉実習	
△ 基礎演習Ⅰ	○ 基礎演習Ⅱ	○ 専門演習Ⅰ	○ 専門演習Ⅱ		
	生活支援技術の基礎を学ぶ ○ 社会福祉援助技術論 △ 介護福祉学Ⅰ ○ 余暇生活支援法Ⅰ ○ 介護技術Ⅰ ○ 介護技術Ⅱ △ 介護実習指導Ⅰ	利用者に応じた生活支援技術を学ぶ △ 介護福祉学Ⅱ ○ 余暇生活支援法Ⅱ △ 認知症の理解Ⅰ △ 認知症の理解Ⅱ △ こころとからだのしづみⅠ △ こころとからだのしづみⅡ ○ 介護過程Ⅱ △ 介護過程Ⅲ ○ コミュニケーション技術Ⅰ ○ 障害の理解Ⅰ ○ 障害の理解Ⅱ △ リスクマネジメント論 ○ 介護技術Ⅲ ○ 介護技術Ⅳ ○ 生活支援技術Ⅰ △ 介護実習指導Ⅱ ○ 介護実習指導Ⅲ ○ 介護実習Ⅰ △ 介護実習Ⅱ	生活支援技術の専門性を高める △ こころとからだのしづみⅢ ○ 介護過程Ⅳ ○ 介護過程Ⅴ △ リハビリテーション論 ○ 生活支援技術Ⅱ ○ 生活支援技術Ⅲ ○ 生活支援技術Ⅳ ○ 介護実習指導Ⅳ ○ 介護実習Ⅲ ○ 介護実習Ⅳ △ 医療的ケアⅠ △ 医療的ケアⅡ ○ 介護福祉と介護技術	生活支援技術の実践力を獲得する ○ 生活支援技術Ⅴ ○ 生活支援技術Ⅵ ○ コミュニケーション技術Ⅱ △ 医療的ケアⅢ	

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
	福祉援助の現状と将来像を学ぶ	根拠に基づく福祉援助技術を身につける	多職種との連携・協働を身につける	福祉援助の実践力を身につける	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ○ ひんご福祉学 ○ ベットと人間福祉学 △ 社会保障入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 心理学と心理的支援 ○ ソーシャルワークの基盤と専門職 △ 高齢者福祉 △ 実用日本語ⅠA △ 実用日本語ⅠB 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） △ 医学概論 ○ ソーシャルワーク演習 △ 福祉用具専門相談員論Ⅰ △ 福祉用具専門相談員論Ⅱ △ 実用日本語ⅡA △ 実用日本語ⅡB 	<ul style="list-style-type: none"> △ 貧困に対する支援 ○ 児童・家庭福祉 ○ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ ○ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ △ 認知症カフェ運営特講 △ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題解決特講 △ 國際社会福祉特講Ⅰ ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 △ 海外福祉研修Ⅰ △ 社会福祉実習指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉調査の基礎 ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ ○ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ○ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ○ ソーシャルワーク実習Ⅰ ○ ソーシャルワーク実習Ⅱ △ 司法ソーシャルワーク特講 ○ 子ども家庭福祉特講 ○ 國際社会福祉特講Ⅱ △ 福祉研究A △ 福祉研究B △ 福祉研究C △ 福祉研究D ○ 海外福祉研修Ⅱ △ 社会福祉実習 	<p>1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。</p> <p>2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。</p> <p>3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー／ケアワーカー）としての専門的技能を身につけることができる。</p> <p>4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。</p>
	△ 基礎演習Ⅰ	○ 基礎演習Ⅱ	○ 専門演習Ⅰ	○ 専門演習Ⅱ	
	介護福祉士の現状と将来像を学ぶ	根拠に基づくケアを身につける	多職種との連携・協働を身につける	組織内、地域での実践力を身につける	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化の理解 △ 介護福祉学Ⅰ ○ 余暇生活支援法Ⅰ △ 介護技術Ⅰ △ 介護技術Ⅱ ○ 介護実習指導Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> △ 介護福祉学Ⅱ △ 余暇生活支援法Ⅱ △ 認知症の理解Ⅰ ○ 認知症の理解Ⅱ △ こことからだのしくみⅠ △ こことからだのしくみⅡ △ 介護過程Ⅱ △ 介護過程Ⅲ △ 障害の理解Ⅰ △ 障害の理解Ⅱ △ 介護技術Ⅲ △ 介護技術Ⅳ △ 生活支援技術Ⅰ ○ 介護実習指導Ⅱ △ 介護実習指導Ⅲ ○ 介護実習Ⅰ ○ 介護実習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> △ こことからだのしくみⅢ △ 介護過程Ⅳ △ 介護過程Ⅴ △ リハビリテーション論 △ 生活支援技術Ⅱ △ 生活支援技術Ⅲ △ 介護実習指導Ⅳ △ 介護実習Ⅲ ○ 介護実習Ⅳ △ 医療的ケアⅠ △ 医療的ケアⅡ 	<ul style="list-style-type: none"> △ 生活支援技術Ⅵ △ 医療的ケアⅢ 	<p>5. 実践を省察し、自己的学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。</p>

教職	教職概論	教育原理 教育心理学 教育課程論 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育相談 人権論	教育制度論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法 進路・キャリア演習 教育実習指導 教育実習Ⅱ	教職実践演習
----	------	--	---	--------